

防犯設備士としての10年の歩み

防犯設備士・大阪府防犯設備アドバイザー
大和電気商工株式会社 常務取締役

阿部 孝則



弊社は昭和30年の設立以来、松下電器産業（現パナソニック）の視聴覚機器の施工代理店として古くから、銀行・証券・企業等に防犯カメラシステムを設置してまいりました。しかしながら、私の入社いたしました平成7年頃には、マンション管理組合での防犯カメラ設置はまだごく僅かでした。そんな中、松下電器のビデオ事業部からの紹介で受注しました大正区のマンション管理組合（平成8年5月）の防犯カメラの設置を皮切りに、徐々に設置を増やし、平成14年度には年間で34組合まで実績をのばすことができました。これは、刑法犯の増加による住民の防犯意識の高まりが背景にあったことは当然ですが、松下製品の知名度・品質・性能・耐久性の良さに加え、当時の松下クレジットの代理店となり、リース契約が容易になり組合の一時負担を軽減できたことが要因として挙げられます。



当時は、マンション管理組合理事会相手のプレゼンテーションでもあり、また営業一人でいかに他社製品よりも松下製品が優れているかをよりわかりやすくお伝えするために、手製のキャスター付デモ機ラックを制作し、大阪を中心に近畿各地を走り回っていました。

私は1960年代いざなぎ景気時の三種の神器 3 C カラーテレビ・クーラー・自動車（Car）になぞらえて、「オートロック」「ロボットゲート」「カラー カメラシステム」を防犯対策三種の神器と称し、特

に「お子様・女性の安心のお守り」をキーワードに防犯カメラシステムの導入を推進しておりました。



当時のコンセプトとしては、今と違い防犯カメラ機器は高額でしたので、居住者のご意見をよく聞き多くの住民の方が賛同して貰える設置箇所に、費用対効果を考慮してまずは必要最小限の設置を、その後保守を含めた永いお付き合いのなかで、将来的に増設が可能な提案を心掛けておりました。しかしながら、もっと専門的な知識の必要性を感じていたところ、弊社社長が防犯設備士資格を取得し協会会員になったことを契機に、私もこれからは防犯設備士資格が必要不可欠と感じ、資格を取得したのがほぼ10年前のことになります。

大阪府防犯設備士協会設立は、平成13年に大阪教育大学附属小学校で起きた児童殺傷事件が創立の契機とのことですですが、当時私の長男も小学生であり、この事件に非常に強い衝撃を受けたことを覚えております。

その後平成18年に協会から派遣され、防犯設備士としてはじめて茨木阪急本通商店振興組合のカメラ16台設置（大阪府商店振興組合防犯カメラ補助事業）工事を請負ました。平成21年1月28日からは大阪府防犯設備アドバイザーを委嘱され、ボランティアとして本格的に協会の防犯診断活動を始めました。

大阪府防犯設備アドバイザーとは、ボランティア活動等を通じて、地域安全活動に防犯知識と技術を

活躍する防犯設備士

生かして参画し、「大阪府安全なまちづくり」に貢献するものとして、府民の防犯対策への多様なニーズに的確に対応できる防犯対策の専門技術者です。

したがって防犯診断・防犯対策を実施する際には、実施地域、対象者固有の犯罪情勢や防犯環境等を十分検討し、実態に即した診断が必要です。また費用対効果を吟味の上、必要性を十分に検討し、顧客の満足する設備提案ができることも必要です。

これら防犯設備アドバイザーの要件は、平成8年からの私の営業活動とリンクする部分がかなりあり、防犯診断にも役立ったと思います。また防犯設備士の活動経験が弊社の営業活動にも相当役立っていると感じております。

さらには、協会の主催する総会やセミナー賀詞交歓会等に出席させていただくことにより、協会員の皆様と交流でき防犯カメラ以外の業種の方との情報交換や新規取引先の開拓もできましたし、協会を通じて大阪府・各市町村の実施した防犯カメラ設置費補助事業にも多数参加し地域の街頭犯罪対策に貢献できました。

また防犯モデル駐車場の防犯診断と登録へのお手伝いも積極的に参加し豊中市内 平成19年度1件 平成24年度1件登録、茨木市内 平成20年度1件 平成23年度2件の登録をいただきました。



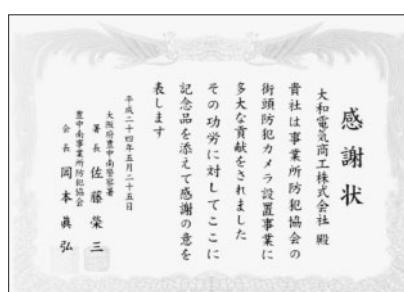
平成23年よりパナソニック製アイプロ130万画素カメラシステムを設置し、そのうちの1件はMBSのニュース番組にて放送されました。

ネットワークカメラ アイプロシリーズは、それまでのアナログカメラでの画質の常識を打ち破り、防犯カメラの信頼性をより高めたと思います。また、カメラの種類も豊富で様々な提案が可能なため、数多くのシステムを提案、設置してまいりました。

平成22年12月より豊中市の街頭犯罪対策カメラ設置事業に携わり、豊中警察・自治会の皆様とともに長興寺地区の学童通学路に8台のカメラを設置しました。また豊中南事業所防犯協会の街頭防犯カメラ6地区7台の設置事業に携わり防犯抑止に貢献ができました。



平成23年よりインターほん改修事業を拡大し、ロビーインターほんカメラ+住戸玄関カメラ+ロビーオっかけカメラのトリプルカメラ防犯システムを推進しておりますが、協会事務局からご紹介いただいた錠前取扱業者様と協力して電気錠システムの改修も可能になりました。



平成15年から10年間にわたり、弊社の営業活動と協会のボランティア活動を両立してこれましたのは、ひとえに支えていただきました皆様からのご指導、ご鞭撻によるものと、深く感謝いたしております。これからも「安全に安心して暮らせるまちづくり」に一層の貢献をしてゆきたいと考えております。